

動脈硬化の程度は、CAVIとABIの検査結果でわかります

CAVI（心臓足首血管指数）

動脈の硬さの程度を表しています。
年齢が高くなるに従ってR/L-CAVI
の値は高くなります。

正常範囲は8未満です。

CAVIの評価基準

CAVI ≥ 9.0	動脈硬化の疑いあり。
$9.0 > \text{CAVI} \geq 8.0$	境界域です。
CAVI < 8.0	正常範囲です。

ABI（足関節上腕血圧比）

足の動脈の詰まりの程度を表しています。
ABIの値が低くなるに従って、狭窄や
閉塞の可能性が高くなります。

標準値は0.91～1.4です。

ABI評価基準

ABI ≤ 0.9	末梢動脈疾患の疑いあり。
$1.41^* \leq \text{ABI}$	足首の血圧が高めです。 (石灰化などの疑い)

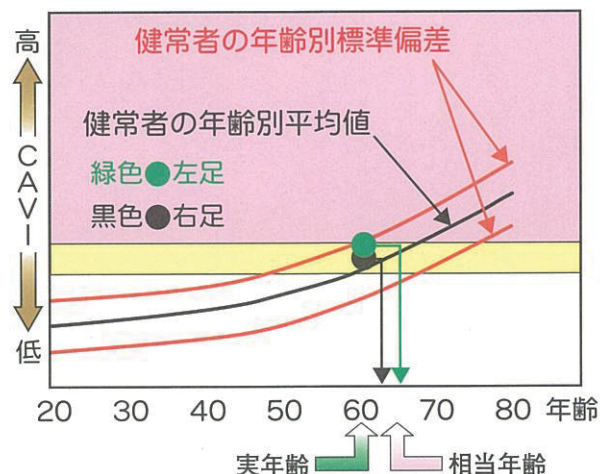
※アメリカ心臓協会(AHA)の基準値採用の場合は1.3です。

血管年齢判定グラフ

今回のCAVI計測値(縦軸)と被検者の
実年齢(横軸)の交差する所に丸印●を
マークします。

相当年齢は、計測値から実年齢と標
準偏差を考慮して求め、下矢印線で相
当年齢を示します。

左右のCAVIを計測した場合には右
足を黒丸●、左足を緑丸●で表示して
います。



BMI（肥満度・体格指数）

$\text{BMI (kg/m}^2\text{)} = \text{体重(kg)} \div \text{身長(m)} \div \text{身長(m)}$

BMIが25以上の場合を肥満としています。

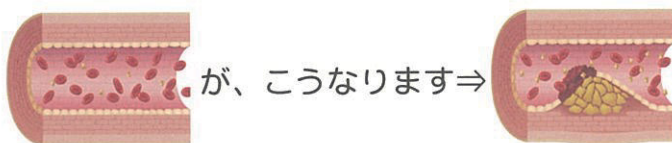


過食せず規則正しい食事と適度な運動を心がけましょう。



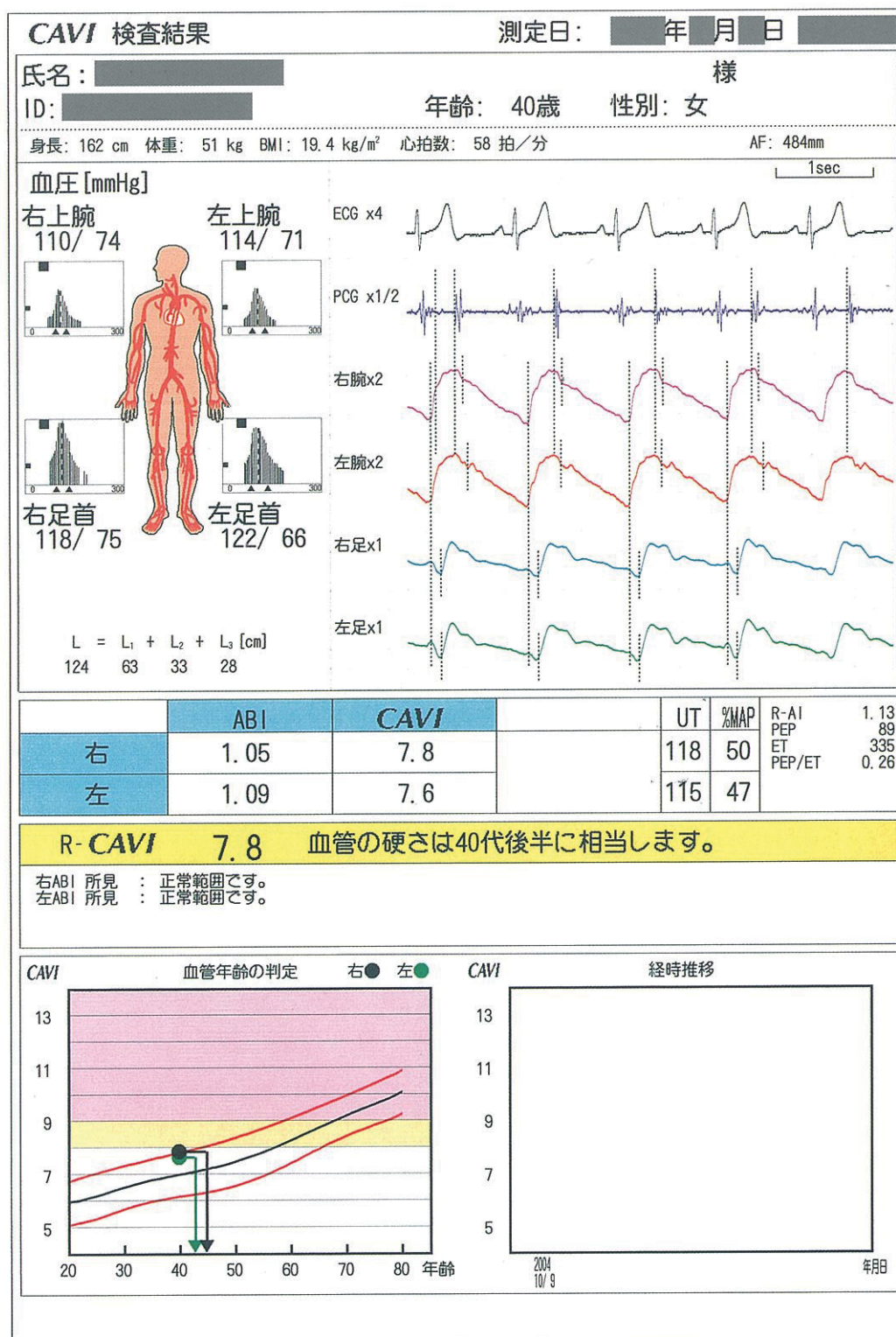
今、動脈硬化の患者さんが増えています

動脈硬化になると



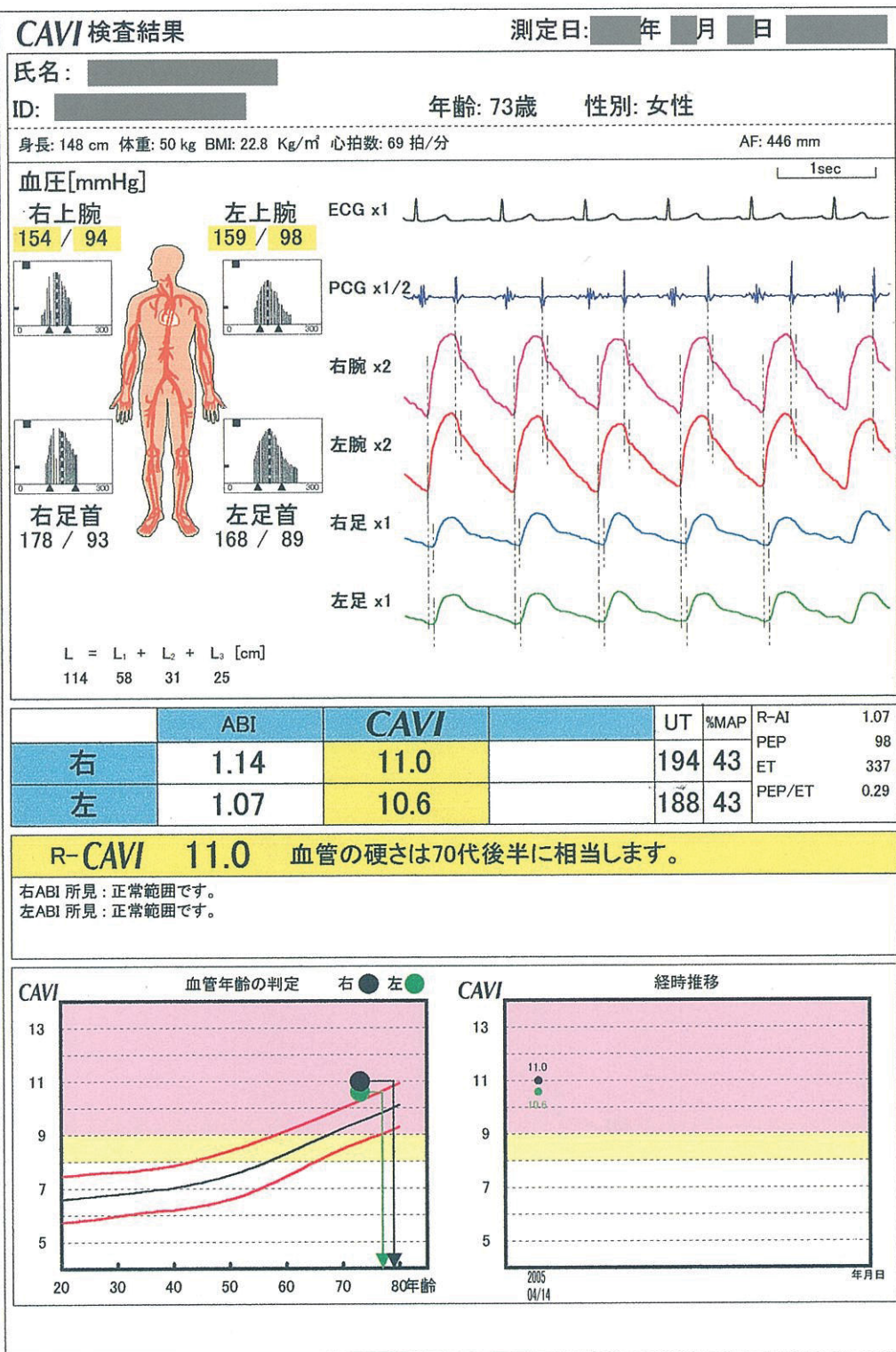
動脈硬化はあまり自覚症状が
ありません。しかし放置する
と、狭心症・心筋梗塞・脳出
血・脳梗塞など命にかかわる
疾患の原因となります。

定期的に検査を受けて、動脈硬化の早期発見と治療に努めましょう



コメント

血圧、ABI、CAVI 値は正常範囲であるが、加齢による脈波の形状の変化が認められる。



コメント

収縮期・拡張期血圧ともに高値で、5年前より降圧剤服用中である。しかし、時に服用を中止している症例である。ABI値は正常範囲であるが、CAVI値は高値を示し動脈硬化の進行が推測される。